

# My City Kawaguchi マイシティかわぐち



5/8日

## 第34回芝のふるさとまつり

芝スポーツセンターで開催。芝地区各町会の子どもみこしが場内を練り歩くなど、1万人もの参加者でにぎわいました。



5/13金

## ふれあい看護体験

医療センターで開催。白衣に着替えた参加者は、新生児や患者と接しながら、看護と医療に対する関心や理解を深めました。



4/29(祝)

## 第29回 グリーンロード・ウォーキング

約380人の参加者は、戸塚安行駅を起点にグリーンセンター、川口緑化センター、安行出羽緑道を通る約13キロのコースを歩き、春の草花など自然を満喫しました。



## 本市出身の演出家 蜷川 幸雄 氏 逝去

演出家 蜷川 幸雄 氏が5月12日、80歳で逝去されました。

世界から高く評価される作品の数々に世に送り出し、文化勲章を受章されるなど、類まれなる才能をお持ちでした。

また、ふるさとである本市に思いを寄せられ、川口総合文化センター・リアにおいて「テンペスト(平成5年)」「近松心中物語(平成7年)」「NINAGAWAマクベス(平成10年)」「元禄港歌(平成12年)」を上演、平成22年11月10日「川口の日」に、市民に明るい夢と希望を与えるとともに本市の名を全国に高められた功績をたたえ「川口市民栄誉賞」を贈呈しました。

ご生前のお姿を偲び、心よりご冥福をお祈りいたします。



川口市民栄誉賞を贈呈

# みんなでつくる 川口の元気

vol.20

熊本県を中心に発生している一連の地震により、お亡くなりになられたかたがたに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

被災地では多くのかたがたが不自由な生活を強いられ、不安な毎日を過ごされていることに、胸が締め付けられる思いです。そうした中であっても被災されたかたがたが互いに助け合っている姿に、また、被災地支援のためにご尽力されているかたがたの姿に心を打たれました。

本市では、少しでも被災地の皆様の力になれるように、地震発生直後から市内公共施設に義援金箱を設置するとともに、熊本県と熊本市に見舞金を贈りました。また、被災した建築物や宅地の危険度を判定し、二次的災害を防止するため、応急危険度判定士、被災宅地危険度判定士の資格を持つ職員を派遣し支援活動を行いました。さらに、要請があれば、水道復旧の技術職員やレスキュー隊、看護師などをすぐに派遣できる態勢を整えています。

先日、私も駅頭に立って義援金の協力を呼びかけました。通勤・通学の忙しい時間帯にもかかわらず多くの義援金が集まり、市民の皆様の被災地支援の思いを肌で感じる事ができました。また、私はこの災害を教訓として、改めてさまざまな角度から本市の防災を検証しなければならないと痛切に感じました。例えば、避難生活の中でトイレに行けず体調を崩す事例が報告されています。災害は明日にも起こるかもしれないという気持ちを常に持ち、非常時のトイレの確保策や設置訓練など防災への取り組みを加速していきます。

今、私たちがすべきなのは、まず被災地に関心をもち続けること。そして、何が出来るかを考え、できることは確実に行動に移すことだと思います。被災地の皆様に一日でも早く笑顔と元気が戻るよう、ご協力をお願いいたします。

熊本のために私たちができること

川口市長 奥ノ本信夫



川口駅前での募金活動



5/5(祝)

## 第28回 みどりの地球号 in安行

安行スポーツセンターで開催。苗木の無料配布や植木の模擬セリ市、ふれあい動物園などのイベントが行われ、多くの来場者でにぎわいました。



5/3(祝)~5(祝)

## スプリング フェア2016

グリーンセンターで開催。園内のさまざまなアトラクションや春の草花を来場した多くのかたが楽しみました。

